



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月30日

上場会社名 株式会社電算 上場取引所 東  
コード番号 3640 URL <https://www.ndensan.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 轟 一太  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 穂川 尚実 TEL 026-224-6666  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,530	△5.3	51	△90.8	△4	—	△22	—
2023年3月期第3四半期	11,114	7.5	559	45.9	567	48.4	384	55.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △0百万円 (ー%) 2023年3月期第3四半期 385百万円 (54.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△4.27	—
2023年3月期第3四半期	76.64	76.50

(注) 2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	18,657	9,901	53.0	1,707.27
2023年3月期	20,179	8,921	44.1	1,775.89

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 9,888百万円 2023年3月期 8,907百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	17.00	—	28.00	45.00
2024年3月期	—	17.00	—		
2024年3月期（予想）				20.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	△1.7	1,250	△50.1	1,248	△50.2	867	△46.2	172.99

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2023年3月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	5,837,200株	2023年3月期	5,837,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	45,381株	2023年3月期	821,381株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	5,148,154株	2023年3月期3Q	5,013,443株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における活動制限の緩和や5類への引下げのほか、個人消費の持ち直しや企業収益の改善の動き等により、緩やかに回復しております。先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善するなか、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待される一方、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

情報サービス産業におきましては、非製造業を中心にソフトウェア投資の増加が続くことが期待されます。

このような状況のもとで、当社グループは、公共分野において、市区町村向けの各種システムのリプレイス、デジタル田園都市国家構想の実現に向けた行政サービスのデジタル化に寄与する製品・サービスや、観光分野の新サービス等の提案及び受注活動に注力しました。また、産業分野において、リース業向けのリース業務パッケージ、医療福祉機関向けの病院情報関連システム、製造業向けの販売管理システム、AI関連システム等の提案及び受注活動に注力しました。

さらに、国が定める標準仕様に準拠したシステムを当社の開発計画に沿って進めるとともに、Intumit Inc. (インツミット株式会社) との間でAI分野に関する包括的協業契約を締結し、生成AIチャットボット「SmartRobot × Azure OpenAI Service」の販売を新たに開始したほか、電子帳簿保存法対応の新サービスの開発と提供を実施しております。また、2023年10月31日に、当社はTOPPANエッジ株式会社との間で、今後、それぞれが持つ事業基盤やナレッジ、ノウハウなどを掛け合わせることで、地方自治体市場及び民間企業も含めた広範な市場に対し、業務効率化やサービスの高度化に貢献するさまざまな事業の展開に取り組んでいくことを目的に、資本業務提携を締結しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、公共分野での基幹系システムのリプレイス、各種交付金や給付金への対応、自治体情報セキュリティ対策における機器等のリプレイス等、また産業分野での各種システム導入及び機器販売等により売上を確保したものの、前年同四半期と比べ、減収となりました。利益につきましては、売上高の減少による影響や、今後の事業展開に向けた研究開発投資の増加等により、前年同四半期と比べ、減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,530百万円(前年同四半期比5.3%減)、営業利益は51百万円(前年同四半期比90.8%減)、経常損失は4百万円(前年同四半期は567百万円の経常利益)及び親会社株主に帰属する四半期純損失は22百万円(前年同四半期は384百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### <公共分野>

定例業務である住民税・健康管理・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険等の受託処理及び総合行政情報システム等のシステム保守のほか、基幹系システムのリプレイス、自治体情報セキュリティ対策における機器等のリプレイス、インボイス制度等の各種法制度改正への対応、標準準拠システムへの移行に向けた支援業務対応、デジタル田園都市国家構想推進交付金事業への対応、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金への対応等により売上を確保したものの、前年同四半期と比べ、減収となりました。利益につきましては、売上高の減少による影響や、標準準拠システムの開発にかかる研究開発投資の増加等により、前年同四半期と比べ、減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,320百万円(前年同四半期比7.9%減)、営業損失は191百万円(前年同四半期は370百万円の営業利益)となりました。

#### <産業分野>

定例業務である口座振替、給与計算等の受託計算処理、インターネット接続サービス、リース業務パッケージ等のシステム保守及びデータセンターサービス提供のほか、リース業務パッケージ、販売管理システム、医療機関向けの総合情報システムや電子カルテシステム、生産管理システムの導入・リプレイス、民間企業向けの機器販売等により、前年同四半期とほぼ同等の売上を確保しました。利益につきましては、パッケージソフトウェアの売上が増加したことで利益が押し上げられ、前年同四半期と比べ、増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,209百万円(前年同四半期比1.5%増)、営業利益は216百万円(前年同四半期比21.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,522百万円減少し、18,657百万円となりました。これは主に、流動資産のその他が677百万円、現金及び預金が588百万円、商品が258百万円、無形固定資産が249百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が3,000百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末と比較して2,502百万円減少し、8,755百万円となりました。これは主に、未払法人税等が633百万円、買掛金が489百万円、長期借入金が432百万円、短期借入金が360百万円及び賞与引当金が305百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して980百万円増加し、9,901百万円となりました。これは主に、利益剰余金が739百万円減少したものの、自己株式が1,740百万円減少したことによるものです。

なお、自己資本比率は、53.0%（前連結会計年度末44.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想については、2023年5月15日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,333,930	1,922,161
受取手形、売掛金及び契約資産	6,755,265	3,755,078
リース投資資産	1,642,735	1,504,029
商品	169,819	428,725
原材料及び貯蔵品	44,478	45,417
その他	558,927	1,236,694
貸倒引当金	△5,074	△70
流動資産合計	10,500,081	8,892,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,510,391	4,294,194
その他（純額）	2,161,090	2,192,895
有形固定資産合計	6,671,482	6,487,089
無形固定資産		
ソフトウェア	1,499,609	1,284,984
その他	17,438	481,246
無形固定資産合計	1,517,047	1,766,230
投資その他の資産		
その他	1,500,445	1,522,085
貸倒引当金	△9,628	△10,298
投資その他の資産合計	1,490,816	1,511,786
固定資産合計	9,679,346	9,765,106
資産合計	20,179,428	18,657,143

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,212,954	723,933
短期借入金	2,652,000	2,292,000
1年内返済予定の長期借入金	586,684	576,000
未払法人税等	633,630	—
賞与引当金	609,272	303,702
製品保証引当金	14,939	12,994
その他	1,751,365	1,629,693
流動負債合計	7,460,847	5,538,324
固定負債		
長期借入金	1,294,000	862,000
退職給付に係る負債	1,329,011	1,292,491
その他	1,174,529	1,062,634
固定負債合計	3,797,540	3,217,125
負債合計	11,258,387	8,755,450
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,395,482	1,395,482
資本剰余金	1,086,700	1,044,925
利益剰余金	8,172,528	7,433,278
自己株式	△1,841,952	△101,767
株主資本合計	8,812,759	9,771,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,410	91,389
退職給付に係る調整累計額	23,363	24,877
その他の包括利益累計額合計	94,773	116,266
新株予約権	13,507	13,507
純資産合計	8,921,040	9,901,692
負債純資産合計	20,179,428	18,657,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	11,114,035	10,530,267
売上原価	7,686,952	7,264,095
売上総利益	3,427,082	3,266,172
販売費及び一般管理費	2,867,822	3,214,714
営業利益	559,259	51,457
営業外収益		
受取利息	19	72
受取配当金	10,358	10,462
受取保険金	4,879	—
その他	8,462	4,935
営業外収益合計	23,720	15,471
営業外費用		
支払利息	15,027	11,705
支払手数料	—	54,045
その他	889	5,188
営業外費用合計	15,917	70,939
経常利益又は経常損失(△)	567,062	△4,009
特別損失		
投資有価証券評価損	1,256	—
特別損失合計	1,256	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	565,805	△4,009
法人税、住民税及び事業税	59,715	9,511
法人税等調整額	121,854	8,479
法人税等合計	181,569	17,990
四半期純利益又は四半期純損失(△)	384,236	△22,000
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	384,236	△22,000



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	384,236	△22,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,920	19,979
退職給付に係る調整額	10,226	1,513
その他の包括利益合計	1,306	21,492
四半期包括利益	385,542	△507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	385,542	△507
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年10月31日開催の取締役会決議に基づき、2023年11月17日付でTOPPANエッジ株式会社を処分先とする第三者割当による自己株式760,000株の処分を行いました。主にこの影響により、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が41,775千円、利益剰余金が739,250千円、自己株式が1,740,185千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が1,044,925千円、利益剰余金が7,433,278千円、自己株式が101,767千円となっております。